



研修会事務局（研修室）からのお願いとお知らせ

電話 03-3571-4109

- ① 相談・支援センター向け研修会とは
- ② 肝疾患（患者）相談支援システムについて

肝がんは
サヨナラするゾ〜



2020年3月開催が中止⇒本部屋を仮予約 2020年6月5日～6日からお待ちしております



下記のとおりお見積もりいたします。ご用命のほど何卒宜しくお願いいたします。
2019年10月以降は、消費税を10%で表示しております。 (金額：円単位)

ご利用内容	人数	数量	単価	金額(税抜)	備考
【A P 新備】					
2020/06/05(金)					
Aルーム 352㎡ 11:00～19:00		8時間	468,000	468,000	
Cルーム 14㎡ 11:00～19:00		8時間	36,000	36,000	
2020/06/06(土)					
Aルーム 352㎡ 09:00～15:00		6時間	377,000	377,000	
Cルーム 14㎡ 09:00～15:00		6時間	29,000	29,000	
【税抜き合計(10%対象)】				910,000	
【消費税合計(10%対象)】				91,000	
【税込み合計】				1,001,000	
【差引き後お見積額】				1,001,000	
—以下余白—					



啓発資材置き場

①a肝疾患相談・支援センター向け研修会とは

2015年度 肝疾患診療連携拠点病院 看護師向け研修会・相談員向け研修会

- 医師向け研修会 年2回
- 看護師向け研修会 年1回 拠点病院内
- 相談員向け研修会 年1回 相談センター内

肝炎情報センターHPで資料公開
(研修会アーカイブ参照)

看護師向け2日間(2015)

日時	講義内容	講師氏名
9:00~9:30	受付	
9:30~9:40	開講式 オリエンテーション	肝炎・免疫研究センター長 瀧上 雅史
9:40~9:45	国府台病院長挨拶	病院長 上村 直実
9:45~9:50	本省挨拶	厚生労働省健康局がん・疾病対策課 肝炎対策推進室
9:50~10:30	拠点病院事業の現状と課題	厚生労働省健康局がん・疾病対策課 肝炎対策推進室 ●発表資料(PDF)
10:30~10:40	休憩	
10:40~11:30	医療コミュニケーション ～西情対応でなぜスキルが使えないか～	奈良県立医科大学健康政策医学講座 講師 岡本 左和子 ●発表資料(PDF)
11:30~12:10	肝硬変・胆管肝患者に対する 栄養療法の現状と課題	独立行政法人国立病院機構 高崎総合医療センター 統括診療部 栄養管理室長 吉田 雅
12:10~13:00	昼食	
13:00~13:35	講義① 肝疾患相談における看護師の新しい役割	岡山大学病院 新医療研究開発センター 難波 志穂子 ●発表資料(PDF)
13:35~14:10	講義② 肝臓病救急立ち上げまでの過程と 看護師の役割	大阪市立大学医学部附属病院 松崎 聖美 ●発表資料(PDF)
14:10~14:45	講義③ 難治性腹水患者の患者指導	独立行政法人国立病院機構長崎医療センター 寺尾 敦 ●発表資料(PDF)
14:45~15:05	休憩 (グループワークに備え机の並べ替え)	

14:45~15:05	休憩 (グループワークに備え机の並べ替え)	
15:05~15:40	講義④ 肝疾患患者が感じる偏見・差別と 医療者側とのギャップ	特定非営利活動法人 東京肝臓友の会 事務局長 米澤 敦子 ●発表資料(PDF)
15:40~17:00	グループワーク	GW 1.5時間
8:30~9:00	受付	
9:00~9:15	記念写真撮影	
9:15~12:00	グループワーク	GW 2.5時間
12:00~13:00	昼食	
13:00~15:00	発表 各10分 質疑応答	発表 10分
15:00~16:00	閉講式 修了証授与	

医師の参加無
そもそも分けて
開催する意味は

相談員向け1.5日間(2015)

日時	講義内容	講師氏名
12:30~13:00	受付	
13:00~13:05	開会の挨拶	肝炎・免疫研究センター長 瀧上雅史
13:05~13:10	本省挨拶	厚生労働省健康局がん・疾病対策課 肝炎対策推進室
13:10~13:40	我が国の肝炎対策について	厚生労働省健康局がん・疾病対策課 肝炎対策推進室 ●発表資料(PDF)
13:40~14:10	C型肝炎経口薬耐性の考え方	肝炎・免疫研究センター長 瀧上雅史
14:10~14:25	地域ブロック単位で考えることの意義	肝炎情報センター長 正木尚彦 ●発表資料(PDF)
14:25~14:30	グループワーク席移動 (休憩)	
14:30~16:00	グループワーク	GW 1.5時間
16:00~17:00	全体発表 各グループごと 8分	中間発表 8分
8:30~9:00	受付	
9:00~9:15	記念写真撮影	
9:15~12:00	グループワーク	GW 2.5時間
12:00~13:00	昼食	
13:00~14:10	全体共有 発表 各グループごと10分 質疑応答	発表 10分
14:10~15:00	総合討論	
15:00~15:30	閉講式	

①b肝疾患相談・支援センター向け研修会とは

2016年度 肝疾患診療連携拠点病院看護師・相談員向け研修会

○テーマ

院内における看護師と相談員とのコミュニケーション（院内連携）の向上を図る
～院内肝炎医療コーディネーター育成・活用を目指して～

○タイムスケジュール 3月3日（金曜日）

- 挨拶 13:00～13:10
肝炎情報センター長 考藤 達哉
厚生労働省 健康局 がん・疾病対策課 肝炎対策推進室 磯田 広史
- 我が国の肝炎対策について 13:10～13:30
厚生労働省 健康局 がん・疾病対策課 肝炎対策推進室 磯田 広史
- これまでの研修会内容 相談員向け研修会 13:30～13:50
東海大学医学部付属病院 総合相談室 伊勢 啓一
これまでの研修会内容 看護師向け研修会 13:50～14:20
国立国際医療研究センター国府台病院 高齊 千秋
<休憩>
- “相談員”と“肝炎医療コーディネーター” 14:50～15:15
～拠点病院の専門医は、このように理解し、期待しています～
肝炎情報センター補佐 佐賀大学教授 江口 有一郎
- 相談員からみた肝炎医療コーディネーター 15:15～15:35
佐賀県健康増進課 統括肝炎コーディネーター 泉 夏美
- 看護師を中心とした肝炎医療コーディネーター活動 15:35～15:55
～院内連携から地域へ～
山口大学医学部附属病院 肝疾患センター 副センター長 日高 勲
<休憩>
- 意見交換会（出席者自己紹介等） 16:00～17:00

※終了後解散

○タイムスケジュール 3月4日（土曜日）

- 記念撮影 10:00～10:15
- 肝炎コーディネーターに関するDVD鑑賞とグループ学習（制作：佐賀大学医学部 肝疾患センター）
10:15～12:00

■グループワーク

■グループワーク発表

<昼食休憩>

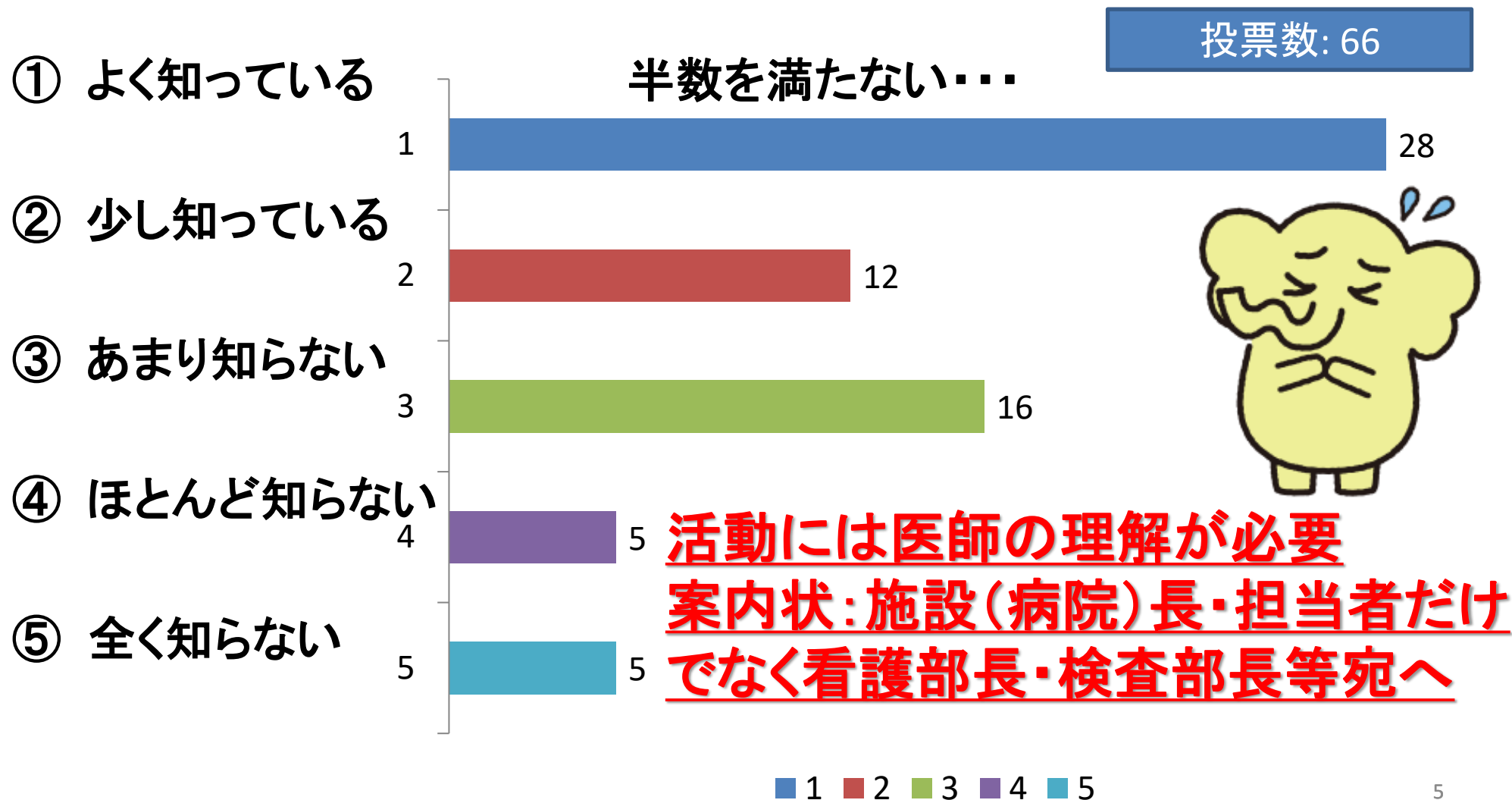
- パネルディスカッション・総合討論 13:00～15:00
- 閉講式 15:00～15:30

57施設 113名 医師2名（＝講師のみ）



①c 質問: 2016年度 研修会アンサーパット

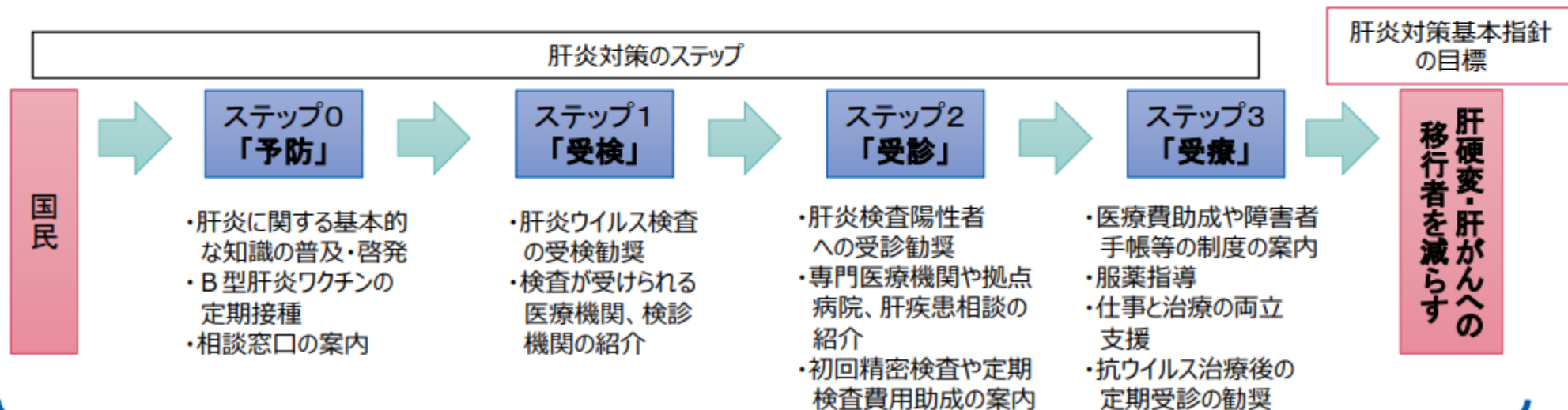
看護師さんへ;肝疾患相談室(相談・支援センター)の相談員をしていますか?



肝炎医療コーディネーターについて

2017年度の肝Co養成・活用
について周知有⇒参加者は肝CO
⇒拠点病院内外連携・共有

「肝炎医療コーディネーターの養成及び活用について」（健発0425第4号平成29年4月25日厚生労働省健康局長通知）参照



1人で全ての役割を担うのではなく、様々な領域のコーディネーターがそれぞれの強みを活かして患者（国民）をみんなでサポートし、肝炎医療が適切に促進される様に調整（コーディネート）する

肝炎医療コーディネーター

保健師



患者会
自治会等



自治体職員



職場関係者



看護師



医師



薬剤師



身近な地域や職域、あるいは病院等に配置され、それぞれが所属する領域に応じて必要とされる肝炎に関する基礎的な知識や情報を提供し、肝炎への理解の浸透、相談に対する助言や相談窓口の案内、受検や受診の勧奨、制度の説明などを行う。他の肝炎医療コーディネーターとも協力・連携することで、肝炎の「予防」、「受検」、「受診」、「受療」と「フォローアップ」が促進されることが期待される。

さらに、身近な地域や職域で肝炎医療コーディネーターが活動し、肝炎への理解を社会に広げる基盤が醸成されることにより肝炎患者への差別や偏見の解消に繋がることも期待される。

国立研究開発法人国立国際医療研究センター
肝炎・免疫研究センター 肝炎情報センター主催
平成29年度(2017年度) 肝疾患診療連携拠点病院
肝疾患相談・支援センター関係者向け研修会

日時：平成30年3月2日（金）13：30～18：00 ・ 3月3日（土）9：30～15：00

場所：AP浜松町Aルーム

〒105-0011 東京都港区芝公園 2-4-1 芝パークビルB館地下1階

テーマ：**各拠点病院の活動内容の情報共有**
～医師参加による院内連携強化と肝疾患患者へのコーディネート～

1. 各拠点病院の活動を報告(ポスター発表)して頂き、**医師**を含めた参加者で進行しながら、**地域ブロックを越えた情報共有**を目指す
2. 肝炎医療コーディネーター(Co)は、自治体の状況によって認定・育成方法等が異なり、その状況を共有し、肝疾患相談・支援センターが出来る「**コーディネート(調整)**」について考える

参加予定人数: 120名(113) ⇒ **医師36名参加(2)**

参加予定施設: 54施設(56)

懇親会予定人数: 52名(35)

ポスターはPDF化・DVD作成提供可能⇒メディカルスタッフセッションへ発展 情報センター主催研修会が各地域の研修会開催の参考になればと・・・

ポスター発表



グループワーク



パネルディスカッション・総合討論



啓発資材⇒投票でgood資材を決定



情報C研修会バッチ⇒肝Co養成後のバッチは均てん化(33都府県)

福島・栃木・長野・山梨・東京・富山・石川・岐阜・三重・和歌山・兵庫・香川・徳島・長崎以外で作成

2017年度作成



2018年度作成



バッチ着用されていますか？

感染知識をアンサーパット

問1d 咳をすると他人に移すか？

B型肝炎



問4 C型肝炎の患者さんの採血をした針を自分に刺した際の感染する確率は？



相談支援システム実用例

H30年度 肝疾患相談支援センター関係者向け研修会

相談支援システム

“私はこう使用している”

福井県済生会病院 橋本まさみ の場合・・・

相談支援システム 当相談室での活用の実例



徳島大学病院
肝疾患相談室
立木佐知子

相談事例・回答を作成

相談事例:

●32歳頃、B型慢性肝炎の急性増悪で入院歴あり。急性増悪時に核酸アナログを内服を開始しその後、ペグインターフェロンをもちいて内服を中止している。現在肝機能は正常上限を超えることが時のある程度で、DNA量は4LogIU/ml前後を推移している。診断書の病名をB型肝炎としていないので職場にはその後も知られていない。職業は、消防士で救急車にも乗ることもある。職場に病名を知らせるべきかどうか、仕事を継続してよいかの相談。

～回答事例～

自分から職場の方には話をしなくてよいが、自分の上司になる人に報告をした方がよいと思われる。理由は、本人の今後の治療で通院・入院が必要になることがでける可能性があるため。



2019年度(2020年2月28,29日予定⇒延期・中止) ⇒2020年度 コロナ禍における拠点病院活動 (オンデマンド配信)

令和元年度肝疾患相談支援センター関係者向け研修会 (案)
A P 浜松町 東京都港区芝公園 2-4-1 芝パークビル B 館地下 1 階

令和 2 年度肝疾患相談支援センター向け研修会 (2021 年 3 月 5 日~15 日)
テーマ 「コロナ禍における拠点病院の活動状況」

テーマ: 拠点病院における相談業務の現状と課題~相談支援システム活用と偏見・差別について

延期⇒中止

2月28日(金) 12時45分受付開始 13時20分までに集合

0. 本日の Agenda 説明 13:20~

1. 挨拶 13:30~13:40
肝炎情報センター長 考藤 達哉
厚生労働省健康局 がん・疾病対策課 肝炎対策推進室

2. 講義 (各 25 分 質疑込み) 13:40~14:30
1) 肝炎総合対策について (仮)
厚生労働省肝炎対策推進室

2) ウイルス肝炎について (仮)
肝炎情報センター 考藤 達哉

3. 特別講演 行動変容を促す 医療コミュニケーションの方法 14:30~15:15
大阪大学 平井 啓

(休憩+啓発資料閲覧 15分)

4. 相談支援システムの現状・これからのグループワーク 15:30~15:40
肝炎情報センター 是永 匡紹

養成・継続研修会では何を? 講師は?
多職種? 職種別→理想の研修会Agendaを
⇒Coの均てん化 (2022年度テーマ)

8. 明日に向けて (自己紹介等) 17:50~
最長) 19:00

- 挨拶 5分 動画1
肝炎情報センター長 考藤 達哉
厚生労働省 健康局 がん・疾病対策課 肝炎対策推進室
室長補佐 大原 正嗣 / 竹内泰江
- 講義 各 20分 動画1
1) 肝炎総合対策について
肝炎対策推進室 室長補佐 大原 正嗣 / 竹内泰江
2) ウイルス肝炎治療の要点-ガイドラインの Update を中心に
肝炎情報センター長 考藤 達哉
- 今回の研修会の目的とお願い 12分 動画2
肝炎情報センター 室長 是永匡紹
- 特別講演
なぜ患者と医療者はすれ違うのか? 40分 動画2
大阪大学人間科学研究科 准教授 平井 啓
- コロナ禍の活動報告 1 各 5分 動画 3
a. 肝疾患相談支援システム活動報告
富山県立中央病院 肝疾患相談室 看護師 古川市子
b. 未定
大分大学医学部附属病院肝疾患相談センター 藤田幸子
- コロナ禍の活動報告 2 約 30分 各施設約 3~4分 動画 3
a. リレー動画 1 (情報 C⇒福井済生会⇒和歌山大学⇒香川県立中央⇒岡山大学⇒情報 C)
b. リレー動画 2 (情報 C⇒徳島大学⇒山口大学⇒久留米大学⇒佐賀大学⇒情報 C)

60施設 203名 医師43名

2021年度肝疾患相談・支援センター関係者向け研修会 テーマ ～コロナ禍から学んだ・悩んだ肝 Co 活動を話そう！

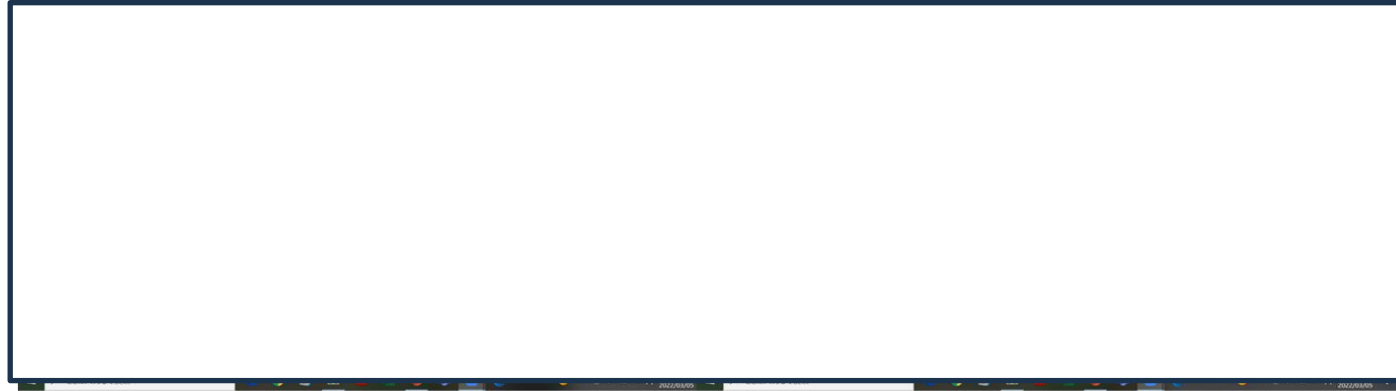
○プログラム（進行：虎の門病院 寺本いずみ/ 肝炎情報センター 是永）

- 挨拶 (13時～)
国立研究開発法人国立国際医療研究センター 肝炎・免疫研究センター
肝炎情報センター長 考藤達哉
厚生労働省 健康局 がん・疾病対策課 肝炎対策推進室
室長補佐 野下祥太郎 / 行本 敦
- 講義 (13時5分～)
・「肝炎総合対策について」 (25分)
肝炎対策推進室 室長補佐 野下祥太郎
・「ウイルス肝炎治療の要点ーガイドラインのUpdateを中心に」 (25分)
肝炎情報センター長 考藤達哉

(5分休憩)
- 意見交換（グループワーク）のポイント (14時～)
・活動事例 (2施設 各5分)
「コロナ禍だからこそ出来ること」
福井済生会病院 看護師 橋本まさみ
「コロナ禍における院内外の肝臓病教室の開催」
徳島大学病院 看護師 立木佐知子
・肝炎すごろくについて (10分)
肝炎情報センター長 考藤達哉
コメント：福井済生会 徳島大 佐賀大
・肝炎情報センター研修会事務局より
～相談センター向け研修会とは・相談支援システムについて・意見交換会の進め方～
肝炎情報センター室長 是永匡紹
- 意見交換会： (14時35分～)
・12グループ/ (4～5ブロック別+施設毎 10～12名) →ブレイクアウトルームに移動
・コロナ禍の肝Co活動と今後の展開/ その他(相談回答困難、活動における悩み等)

(5分休憩)
- グループ発表 (15時45分～)
・発表5分 (質疑 1名が口頭コメントまたはppt使用)
- 閉会式 (16時50分)
・受講証授与 (代表：虎の門病院 寺本いずみ+L group)
・記念撮影 (3回にわけて)
・閉会の挨拶：
肝炎情報センター長 考藤達哉

ハイブリッド開催+ブレイクアウトルームでグループワーク



50施設 136名
： 現地30名
→マンボウ後3名(医師2名)

R4年度肝疾患相談・支援センター関係者向け研修会

テーマ ～事例から探す肝Coとしてできること～

1. 挨拶 (13時～)
国立研究開発法人国立国際医療研究センター肝炎・免疫研究センター
肝炎情報センター長 考藤 達哉
厚生労働省 健康局 がん・疾病対策課 肝炎対策推進室
室長補佐 野沢 彰紀
2. 講義 (13時5分～)
 - ・「肝炎総合対策について」 (20分)
肝炎対策推進室 室長補佐 野沢 彰紀
 - ・「ウイルス肝炎治療の要点ガイドラインのUpdateを中心に」 (20分)
肝炎情報センター長 考藤 達哉
 - ・肝炎すごろくについて
「啓発資料としての肝炎すごろくの開発とその学習効果」 (15分)
横浜市立大学 先端医科学研究センター・コミュニケーション・デザイン・センター 助教 西井 正達
「青少年に向けた普及啓発 -出張肝臓病教室による取組事例」 (15分)
熊本大学病院 消化器内科 助教 瀬戸山 博子

(10分休憩)
3. 肝炎情報センター研修会事務局からのお知らせ (14時25分～)
 - ・相談センター向け研修会とは/肝疾患相談支援システムについて (15分)
肝炎情報センター 室長 是永 匡紹
4. グループワーク (14時40分～)
 - ・グループワークの進め方 (5分)
肝炎情報センター 上級研究員 竹内 泰江
 - ・事例検討 問題点の抽出/アプローチ法/解決策 (50分)

(10分休憩)
5. グループ発表 (15時45分～)
 - ・発表 (各4分以内、グループ代表1名がppt使用、事例ごとに質疑5分)
6. 閉会式 (17時00分～)
 - ・受講証授与 (会場のみ)
 - ・閉会の挨拶：
肝炎情報センター長 考藤 達哉

50施設 108名
: 現地29名

R5年度肝疾患相談・支援センター関係者向け研修会

テーマ ～相談支援システムの活用で情報収集とレベルアップ!!～会場のみ

- 挨拶 (13時～)
 - 国立研究開発法人国立国際医療研究センター肝炎・免疫研究センター
肝炎情報センター長 考藤 達哉
 - 厚生労働省 健康・生活衛生局 がん・疾病対策課 肝炎対策推進室
室長補佐 行本 敦
- 講義 (13時5分～)
 - ・「肝炎総合対策について」(20分)
肝炎対策推進室 室長補佐 行本 敦
 - ・「ウイルス肝炎治療の要点ーガイドラインのUpdateを中心に」(20分)
肝炎情報センター長 考藤 達哉
 - ・肝炎情報センター研修会事務局からのお知らせ
相談センター向け研修会とは/肝疾患相談支援システムについて (20分)
肝炎情報センター室長 是永 匡紹

(15分休憩)
- グループワーク (14時20分～)
 - ・グループワークの進め方 (5分)
肝炎情報センター 上級研究員 竹内 泰江
 - ・事例検討 問題点の抽出/アプローチ法/解決策 (60分)

(15分休憩)
- グループ発表 (15時40分～)
 - ・発表 (グループ代表1名がppt使用)
- 閉会式 (17時10分～)
 - ・受講証授与
 - ・閉会の挨拶
肝炎情報センター長 考藤 達哉

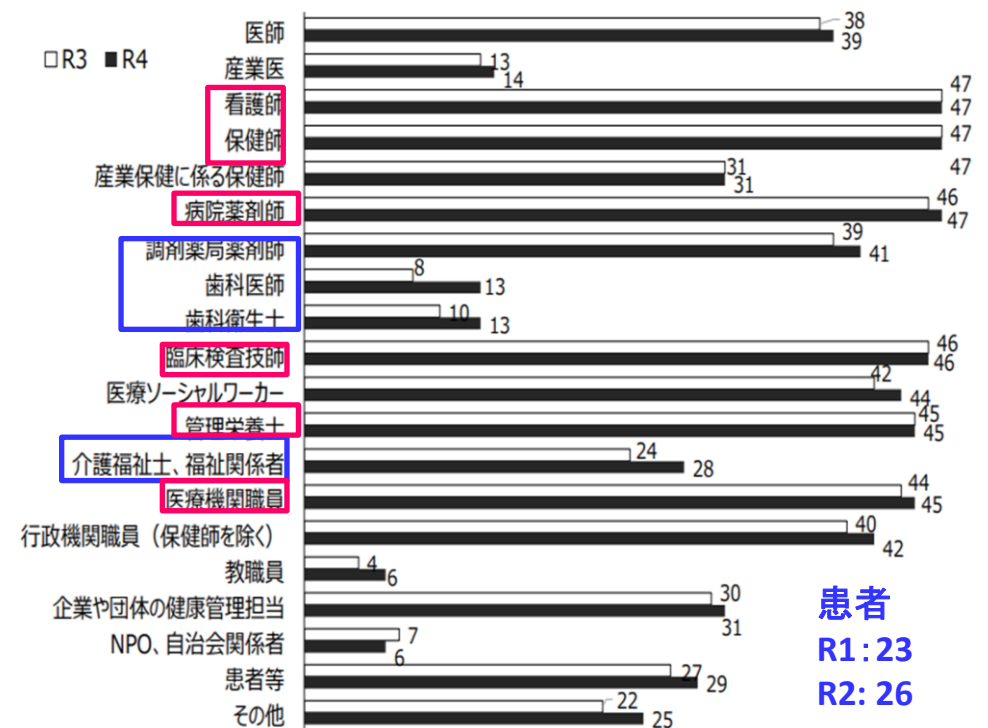
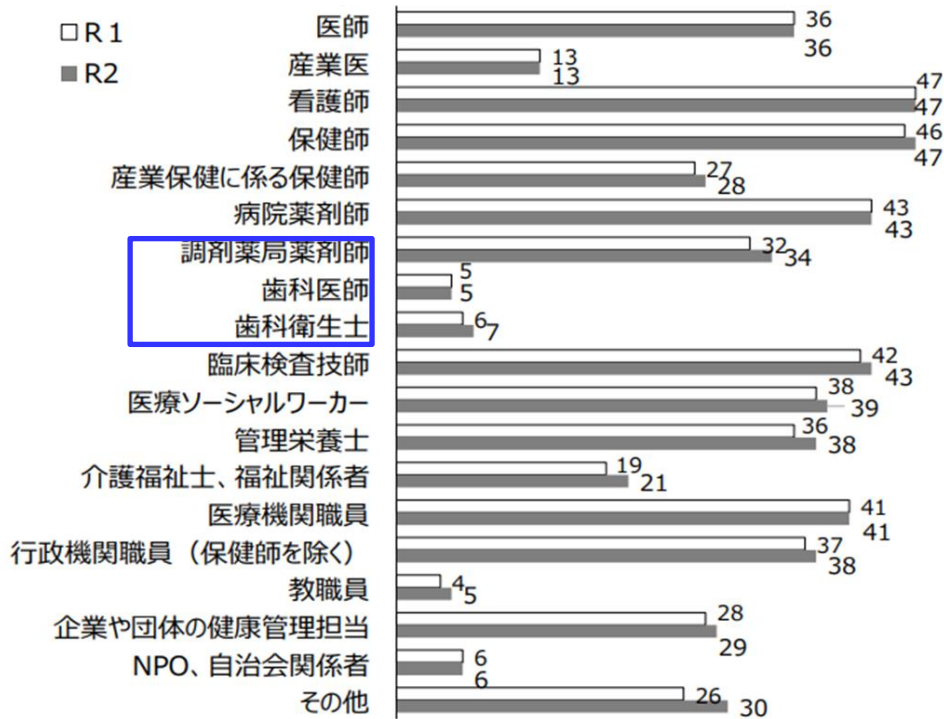
開催年度	会場	参加施設数	参加人数	肝Co取得率
2016	市川	56	113	35%
2017	浜松町	54	120	37%
2018	浜松町	54	109	58%
2019	COVID-19のため中止			
2020	Web(オンデマンド配信)	60	203	67%
2021	新橋(ハイブリッド)	50	136	71%
2022	新橋(ハイブリッド)	52	108	90%

46施設 80名 (医師8名↓) 肝Co約90%

- ・6～7名のグループワーク (まだまだ入れます)
⇒100名以上⇒全施設参加⇒全国のCo交流の場に
⇒医師との連携⇒旅費の確保
- ・肝Co取得済の参加者が主
⇒肝疾患・助成制度の講義を受講済み
⇒研修内容を各拠点病院内・肝Co在籍施設へ展開

都道府県肝CO職種別養成者の変遷

⇒看護師・保健師・院内薬剤師・検査技師・栄養士・医療事務は45都道府県に



患者
R1: 23
R2: 26

「令和3年度肝炎対策に関する調査（調査対象令和2.4.1～令和3.3.31）」（厚生労働省 健康局 がん・疾病） 「令和5年度肝炎対策に関する調査（調査対象令和4.4.1～令和5.3.31）」（厚生労働省 健康・生活衛生局 がん・疾病対策課 肝炎対策推進室調べ）より

* R3以降は 調剤薬剤師 歯科関係者 福祉関係者が増加

* * 産業保健関係・教職員は増加しない

* * * 患者さんを肝Co取得可能な31都道府県、肝Co取得29

養成可能職種(47都道府県にアンケート調査)

看護師・薬剤師・臨床検査技師は全地域⇒学生・教諭は認められない地域も

医師	看護師	保健師	臨床検査技師	薬剤師	医療ソーシャルワーカー	看護助手	
○	○	○	○	○	○	○	
歯科医師	歯科衛生士	歯科助手	医療放射線技師	臨床工学技士	医療事務	管理栄養士・栄養士	
○	○	○	○	○	○	○	
理学療法士	作業療法士	衛生管理者	行政職員	ケアマネージャー	介護福祉士	ヘルパー	弁護士
○	○	○	○	○	○	○	○
教諭	養護教諭	保育士	社会保険労務士	MR(製薬メーカー担当者)	検査メーカー担当者		
○	○	○	○	○	○	○	
小学生	中学生	高校生	大学生	民生委員	患者さん・元患者さん	一般市民	
○	○	○	○	○	○	○	

全職種 養成可能地域 (12)



埼玉	栃木	群馬	千葉
徳島	広島	香川	鳥取
宮崎	長野	岡山(R5)	奈良(R5)

(↑患者さんは条件つき)

居住地以外からも肝CO認定可能(26): 岩手・福島・群馬・栃木・茨城・埼玉・千葉・神奈川・山梨・岐阜・福井・京都・滋賀・奈良・和歌山・兵庫・岡山・鳥取・徳島・福岡・大分・宮崎・熊本・佐賀・長崎・鹿児島
 聴講不可・想定無(10): 秋田 山形 新潟 長野 三重 山口 香川 愛媛 高知 沖縄

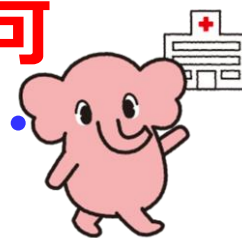
Co養成講習会で教えている内容(47都道府県にアンケート調査)

赤色はほとんど地域で講義に含まれていない→肝Co養成者には更なる講義が必要

肝炎対策基本法・基本指針	肝炎対策推進室	肝炎情報センター	拠点病院（相談支援センターの案内等）	知って肝炎	世界肝炎デー	偏見・差別
						↑17都府県
検査数・陽性率	肝がん死亡数	フォローアップ事業	治療費助成（B・C型肝炎ウイルス）	肝がん・重度肝硬変	初回精密検査助成	定期検査助成
A型肝炎	B型肝炎	C型肝炎	E型肝炎	自己免疫性肝疾患	脂肪肝	アルコール
血液検査の読み方	肝硬度	受診継続の重要性	肝硬変の合併症	肝硬変の治療	運動・栄養療法	肝がんの診断方法
肝がん治療（内科）	肝がん治療（外科）	肝移植	B型肝炎ワクチン	標準予防策（感染予防）	その他	

肝Coの均てん化は現状では困難！肝Co守りたい！

⇒島根県：肝Co在籍病院が紹介すると診療報酬取得可
啓発参加＋知識の均てん化・アップデートは絶対条件では



相談事例からみるC型肝炎排除後の課題 「HCV抗体陽性の意味は？」 「終生陽性？」

・C型肝炎

ウイルスが排除されても信じて貰えない

HCV抗体陽性と言われた。ウイルスに再感染したのか？

自治体検診におけるHCV抗体陽性率と要精密検査率（高力価＋中低力価PCR陽性）

健康増進事業	HCV抗体 検診数	HCV抗体 陽性率	HCV感染の 可能性が高い率	低中力価 RNA陽性率	HC抗体陽性中で 精密検査必要な率
2016年	761,638	0.76%	0.32%	14%	42%
2017年	725,118	0.72%	0.30%	13%	42%
2018年	750,333	0,68%	0.26%	13%	38%
2019年	704,076	0.63%	0.22%	12%	35%
2020年	589044 ↓	0.63%	0,21%	13%	33%

HCV抗体は過去に感染したことを示す「感染抗体」
ワクチンを接種して獲得（上昇）する「中和抗体」異なる
ウイルス排除（治療）例であれば「感染していた」のでほぼ終生陽性
（＊一過性感染例で低力価症例は陰性化する可能性有）

- ① 拠点病院その他の医療機関及び検診機関に配置された肝炎医療コーディネーター(医師、看護師、薬剤師、管理栄養士、臨床検査技師、医療ソーシャルワーカーをはじめとする医療従事者や医療機関職員等)

ア. 基本的な役割

肝炎患者や肝炎ウイルス検査陽性者が安心して医療を受けられるように、主に保健医療や生活に関する情報提供や相談支援、フォローアップなどを行うとともに、行政や職場などとの連携の窓口となる。

イ. 具体的な活動内容の例

- 肝炎医療に係る情報、知識等の説明、肝炎ウイルス検査の受検案内
- 肝炎ウイルス検査陽性者への受診勧奨、専門医療機関の紹介
- 抗ウイルス治療後も含めた継続受診の重要性(ウイルス排除後も発がんリスクがあることなど)の説明
- 肝炎患者やその家族への生活面での助言、服薬や栄養の指導
- 定期検査費や医療費の助成、身体障害者手帳等の制度の説明や行政窓口の案内
- C型肝炎訴訟やB型肝炎訴訟に関する窓口案内
- 仕事や育児と治療の両立支援相談に関する窓口案内
- 医療機関職員向けの勉強会の開催
- 拠点病院などで実施する肝臓病教室や患者サロンなどへの参加
- 地域や職域における啓発行事への参加、啓発行事の周知

- ・感染症における抗体・抗原・PCR検査に興味がわくようになった(理解できるようになった)
- ・傷をするとすぐに消毒するようになった(感染対策の意味はわかるようになった)
- ・患者さんに言葉に配慮するようになった
- ・**薬剤師：再活性化の可能性ある薬を注意する様になった**
- ・**臨床検査技師：肝炎ウイルス検査もパニック値として報告した**

- ・活動があまりできてない（何をしてもよいかわからない）
- ・肝疾患にあまりふれる機会ない
- ・施設での肝Coとしての活躍の場がない
- ・メリットがないと継続・増員できない（インセンティブ）



番号	事項	報告内容
1	肝炎の啓発活動	(該当する項目に○を付けてください。(複数回答可)) ・肝炎の基本的知識に関する普及啓発 ・肝炎に関する情報の入手先・相談先の案内 ・啓発活動への参加・周知 ・市民公開講座・継続研修等への参加
2	受検・受診の勧奨等	(該当する項目に○を付けてください。(複数回答可)) ・肝炎ウイルス検査の受検案内・勧奨 ・検査陽性者への受診勧奨、専門医療機関の案内 ・継続受診の重要性の説明
3	支援制度の案内	(該当する項目に○を付けてください。(複数回答可)) ・フォローアップ事業の案内 ・初回精密検査や定期検査の費用助成、肝炎医療費助成等の制度の案内

肝炎医療コーディネーターになって

- (該当する項目に○を付けてください。(複数回答可))
- ・肝疾患に関する情報に関心を持った
 - ・感染対策・予防の知識が増えた
 - ・肝炎患者さんの気持ちを考えるようになった
 - ・差別・偏見について注意するようになった

②a 肝疾患患者相談支援システムとは？

2019年から全ての拠点病院使用（相談対応は拠点病院の役目）

■ 政策、制度概要

平成29年度 第2回肝疾患診療連携拠点病院間連絡協議会 肝炎対策推進室「今後の肝炎総合対策」より改変

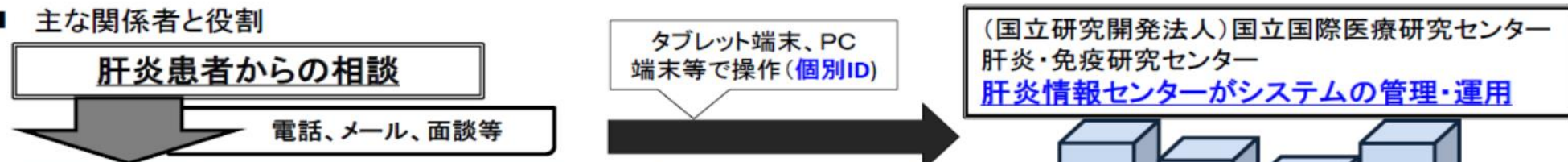
「肝炎対策基本指針」第4(2)シにおいて、「**肝炎患者等への相談対応について、都道府県及び肝疾患診療連携拠点病院（以下「拠点病院」という。）は、地域の実情に応じて適切な体制を整備する。**」とされており、様々な状況におかれた肝炎患者等の相談体制を充実させることが求められているところ。

このため、平成26年度から28年度まで厚生労働科学研究費補助金「**肝疾患患者を対象とした相談支援システムの構築・運用・評価に関する研究（八橋班）**」において、「肝疾患患者相談支援システム」を構築し、研究協力機関にて試験的運用をしてきたところ。運用の結果、当該システムの有用性が認められることから、**全国の拠点病院に導入し、肝炎患者の相談支援に活用**することとする。

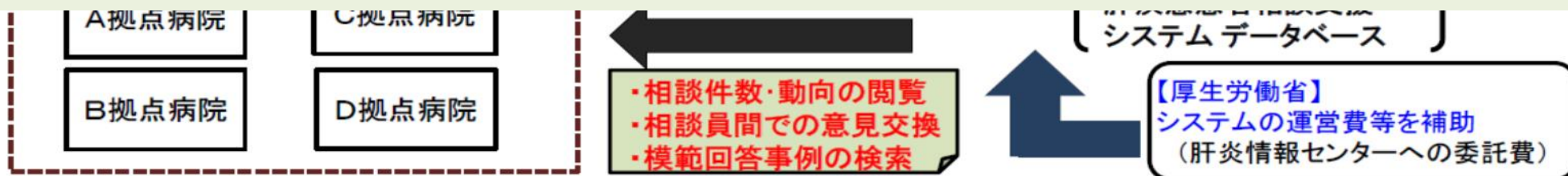
■ 対象業務

本システムでは、**拠点病院等における相談員等が、肝炎患者からの様々な相談内容を個人情報に十分に配慮して記録・検索・編集し、個々の事例に適した対応ができるよう、補助ツールとしての活用が期待**され、全国的な相談員の質の均てん化により、肝炎患者の悩みの軽減や生活の質の向上へとつなげることができる。

■ 主な関係者と役割



**拠点病院相談体制に充実（個人情報に配慮して その内容を記録検索可能）させる＋
個々の事例に適した対応（回答の均てん化）の補助ツール**



②-b 相談支援システム ユーザーとは 責任者or管理者は役目は極めて重要！！

- ・ システム責任者：ユーザー管理・記載内容確認 個人情報管理
- ・ システム管理者：責任者の代行・責任者へシステム情報共有
- ・ 一般ユーザー（記載可能・閲覧のみ）

⇒青字:6か月連続アクセス無でユーザー削除

+再登録可能：1か月以内にアクセス無or3ヶ月間連続アクセス無
⇒再削除（二度と登録不可）⇒10名以上（三度目の登録希望も）

- ・ システム責任者(=センター長：ユーザー登録後一度もアクセス無
(31⇒15⇒5)
⇒札幌 武蔵野 北里 大津 香川 (体制確認 ログインを)
- ・ 医師の責任者/管理者無(4⇒1⇒0)：順天静岡⇒変更済



web上で説明⇒2h～

②-c 相談支援システム ユーザーとは ユーザー管理と変更方法⇒システム内から可能（責任者・管理者しかできません）



肝疾患患者相談支援システム

本日までの全国総登録件数： 73279 件 （自施設： 0 件）

ユーザー情報編集

システムに関するFAQ

マンスリーレポート 1/10

最近の活動報告まとめ
(Excelデータ) 3/2



【NEWS】

「質問箱」に投稿があります！ご意



肝疾患患者相談支援システム

是永 匡紹
ログアウト

ユーザー情報編集

ユーザー管理

ユーザー情報編集

ユーザーID

ICE101

氏名

是永 匡紹

ニックネーム

是永匡紹(システム管理者)

登録ユーザー変更申請

送信

既存ユーザーの変更・削除

ユーザーID	変更区分	氏名	権限
ICE000	なし	考藤 達哉	相談支援システム責任者
ICE101	なし	是永 匡紹	相談支援システム管理者

新規ユーザーの登録

氏名	ニックネーム	権限	メールアドレス	パスワード	地方公共団体
----	--------	----	---------	-------	--------

ユーザー追加*

氏名	ニックネーム	権限	メールアドレス	パスワード パスワード(確認)	地方公共団体
			ICE101 確認	<input type="checkbox"/>

申請を破棄する

送信

近日中に
システム内に
マニュアル動画を
掲載予定

②-d 相談支援システム利用状況 マンスリーレポート

入力件数(月約1000件⇒減少中) ・ ・ 減少傾向も配信時はmail有 ユーザー(340名)の半数は毎月閲覧

肝疾患患者相談支援システム

令和6年1月31日まで



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	上半期
2021年度(1月末時点入力数)	1193	1043	1301	1253	1180	1240	7210
2022年度(1月末時点入力数)	1080	1125	1189	1176	1112	1071	6753
2023年度(1月末時点入力数)	995	1046	1097	1039	960	862	5999
1~2か月遅れで記載数	159	166	217	305	181	189	1217
3か月以上遅れ記載数	22	38	44	81	41	19	245
上記で今月記載数	4	5	1	15	13	13	51
2021年度比(同時期)	-198	3	-204	-214	-220	-378	-1211
2022年度比(同時期)	-85	-79	-92	-137	-152	-209	-754
参考；2021年最終	1222	1071	1321	1272	1207	1257	7350
参考；2022年最終	1087	1136	1218	1237	1149	1121	6948
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	下半期
2021年度(1月末時点入力数)	1136	1128	1120	806			4190
2022年度(1月末時点入力数)	1036	1064	962	745			3807
2023年度(1月末時点入力数)	1001	1037	923	791			3752
1~2か月遅れで記載数	153	218	119				
3か月以上遅れ記載数	7						
上記で今月記載数	7						
2021年度比	-135	-91	-197	-15			-438
2022年度比	-35	-27	-39	46			-55
参考；2021年最終	1184	1212	1265	1063	1003	1250	6977
参考；2022年最終	1093	1109	1064	972	1061	1237	6536

2023 (R5)年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	R5年度上半期平均(範囲)	R4年度上半期平均(範囲)
ログイン施設数	72	72	71	72	71	70	71.3(70~72)	68.3(66~71)
登録施設数	61	64	56	59	60	53	58.8(53~64)	56.5(52~59)
記載ユーザー数	94	103	79	81	82	76	85.8(76~103)	82.0(76~89)
質問箱・活動報告閲覧施設	68	69	68	71	70	67	69.2(68~71)	64.1(51~62)
上記閲覧ユーザー数	187	183	158	213	195	170	184(158~213)	148(128~171)
参考；ユーザー数	345	345	334	340	340	341	341(334~345)	
2023 (R5)年度	10月	11月	12月	1月	2月	3月	R5年度下半期平均(範囲)	R4年度下半期平均(範囲)
ログイン施設数	71	71	70	71			70.7(70~71)	69.6(69~71)
登録施設数	58	52	58	59			56.7(52~58)	55.7(50~60)
記載ユーザー数	86	81	82	80			82.2(80~86)	79.8(71~88)
質問箱・活動報告閲覧施設	67	64	65	70			66.5(64~70)	64.8(61~67)
上記閲覧ユーザー数	187	173	181	180			180(173~187)	157(142~181)
参考；ユーザー数	338	339	340	339			339(338~340)	

②-i 相談支援システム利用状況

活動報告

相談内容登録に次いでアクセス数↑ ⇒16都道府県肝炎対策部署も閲覧



【NEWS】 「質問箱」「活動報告箱」に投稿があり

- 2023/07/14 島根大学医学部附属病院：活動報告
- 2023/07/14 島根大学医学部附属病院：活動報告
- 2023/07/14 香川大学医学部附属病院：令和5年度活動予定
- 2023/07/13 旭川医科大学病院：令和5年度活動予定
- 2023/07/13 浜松医科大学医学部附属病院：2023年度活動計画
- 2023/07/10 三重大病院の爲田です。短期滞在手術等基本料・...
- 2023/07/10 順天堂大学医学部附属静岡病院：2023年度活動計画
- 2023/07/10 名古屋市立大学病院：第一回肝臓病教室のWeb配信について
- 2023/07/10 北海道大学病院：2023年度 活動計画

システムに関するFAQ

マンスリーレポート 7/5

最近の活動報告まとめ (Excelデータ) 3/2

新規活動報告はこちら

リンク集

肝炎情報センター

厚生労働省 関連サイト

各種ガイドライン

政策研究班ウェブサイト (お役立ちサイト)



北海道・東北

- 北海道大学病院
- 旭川医科大学病院
- 札幌医科大学病院
- 弘前大学医学部附属病院
- 岩手医科大学附属病院
- 秋田大学医学部附属病院
- 市立秋田総合病院
- 東北大学病院
- 山形大学医学部附属病院
- 福島県立医科大学附属病院

関東・甲信越

- 群馬大学医学部附属病院
- 自治医科大学附属病院
- 獨協医科大学病院
- 日立総合病院
- 東京医科大学茨城医療センター
- 埼玉医科大学病院
- 千葉大学医学部附属病院
- 虎の門病院
- 武蔵野赤十字病院
- 横浜市立大学附属市民総合医療センター
- 聖マリアンナ医科大学病院
- 北里大学病院
- 東海大学医学部附属病院
- 横浜市立大学附属病院
- 山梨大学医学部附属病院
- 信州大学医学部附属病院
- 新潟大学医学部附属病院
- 研修用施設

東海・北陸

- 順天堂大学医学部附属静岡病院
- 浜松医科大学医学部附属病院
- 名古屋大学医学部附属病院
- 名古屋市立大学病院
- 藤田医科大学病院
- 愛知医科大学病院
- 岐阜大学医学部附属病院
- 三重大学医学部附属病院
- 富山県立中央病院
- 市立砺波総合病院
- 金沢大学附属病院



掲載資料よりAgenda集を作成

R2年度 59施設
 R3年度 44施設 (1施設はHP/FBのみ)
 R4年度 56施設 (2施設はFB共有のみ 山口 琉球)
 R5年度 63施設 (5施設はFB共有のみ)
 東北 横浜医 兵庫医 佐賀 琉球

* 3年間 活動報告投稿無 6施設
 市立秋田 京都 京都府立 滋賀医 近畿 琉球

②-e相談支援システム利用状況：記載内容の公開

質問や回答を公開することで相談対応者の均てん化を目指す(202111よりデモ)

肝疾患患者相談支援システム 是永 匡紹
ログアウト

本日までの全国総登録件数： 73279 件 (自施設： 0 件)

ユーザー情報編集

システムに関するFAQ

マンスリーレポート 1/10

最近の活動報告まとめ (Excelデータ) 3/2

新規活動報告はこちら

肝疾患相談支援センター

公開事例 (1776件公開中)

質問箱

相談件数・動向の閲覧

【NEWS】
2024/01/22 ~お気づきですか?~ 12月~ 差別偏見・肝...
2023/11/13 システム内でユーザー登録・変更・削除の申請が可能にな

肝疾患患者相談支援システム 是永 匡紹
ログアウト

相談記録 みんなの回答 検索

検索画面

検索

相談内容の分類

- 病気自体に関して
- 病気の治療に関して
- 医療費助成制度に関して
- 肝炎ウイルス検査に関して
- 日常生活上の留意点に関して
- 医療機関に関して
- 病気の偏見・差別に関して
- 生活支援について
- 仕事・就労支援について
- 肝炎訴訟について
- その他

相談内容 助言・対応

女性 50代 B型肝炎 既往感染 病気自体に関して 肝炎ウイルス検査に関して 日常生活上の留意点に関して 感染心配 その他 日常生活の留意点

以前、自身がB型肝炎キャリアと認識され、疾患や治療、助成制度やB型肝炎訴訟について相談に来室されている。その際、既往感染であり再活性化について説明しながら、B型肝炎訴訟 (H Bc抗体低値であり難しいと説明) についても助言していた。今回、既往感染だと判明したデータが1年前のものであったこと、それ以降に膠原病かもしれないと言われたため再活性化していないか不安になり来室された。

膠原病かもしれないと医師から説明うけても、経過観察中であり、免疫抑制剤や抗癌剤治療を行っていないので再活性化している可能性は低い旨をお伝えした。ただ、AST/A L T値が50-60程度であり、肝臓専門医を受診するよう勧め、次回他科受診の際に紹介してもらうこととした。また、脂肪肝予防として、食事内容の見直しや運動機会を作るよう助言した。

(2023年7月)

参考になった 0

1800件以上蓄積！！
関係者で確認して公開
個人情報 は削除

②-f.相談支援システム利用状況：今年度公開状況

12月末で53施設が公開（公開率8%）⇒全ての公開が目的ではなく、回答案を作り上げていく

年月	相談記録登録件数	公開許可件数	公開率
2023年4月	1171	123	10.5%
2023年5月	1157	114	9.9%
2023年6月	988	85	8.6%
2023年7月	836	69	8.3%
2023年8月	1036	59	5.7%
2023年9月	942	51	5.4%
2023年10月	997	62	6.2%
2023年11月	1122	102	9.1%
2023年12月	995	72	7.2%
2024年1月	1010	80	7.9%
	10254	817	8.0%

参考：相談登録件数が上位施設(150件以上)の公開率

鳥取(154) 60.4%
 広島(1326) 22.7%
 徳島大 (469) 8.5%
 茨城医 C(268) 3.7%
 武蔵野 (249) 3.3%
 虎の門 (737) 3.1%

香県中 (359) 2.0%
 岡山(257) 1.9%
 山梨(343) 1.5%
 富山県中 (1561) 1.4%
 福山市 (485) 1.4%
 札幌医(817) 1.1%
 島根(182) 1.1%
 熊本(166) 0.8%
 名市(514)
 ⇒2月より公開
 旭川(204)
 ⇒公開を検討を



誤字・個人情報の確認・追記して回答案を作成



②-g.相談支援システム利用状況：報告書内にも回答例を掲載 最終的に抜粋⇒回答集作成（電子版？）⇒手伝って頂けませんか・・・

肝疾患患者相談支援システム
2022 年度報告書

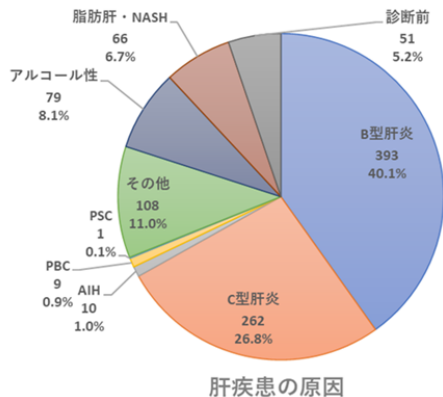


集計対象期間：2022 年 4 月 1 日～2023 年 3 月 31 日
施設数：72 拠点病院
総相談件数：13484 件

国立研究開発法人 国立国際医療研究センター
肝炎・免疫研究センター 肝炎情報センター

2023 年 11 月 15 日

2	相談支援システム導入後 4 年間の変遷	201
2.1	相談内容の分類	7
2.2	ブロック	8
2.3	相談形態	8
2.4	相談員属性	9
2.5	年齢	10
2.6	性別	10
2.7	肝疾患の原因	11
2.8	肝疾患の病態	12
3	基本情報と公開事例投稿について.....	13
3.1	登録ユーザー数	14
3.2	年度内ログイン状況推移	14
3.3	公開事例の投稿件数	14
3.4	公開事例の回答例	16



男性 70代 B型肝炎 既往感染 病氣自体に関して

☞糖尿病で通院中の地元の開業医でB型肝炎関連の検査を受けたHBs抗原陰性、HBs抗体陽性で抗体の数値が高く検査結果に「H」のマークがついている。HBc抗体も陽性、HBe抗原は陰性、HBe抗体は陽性、HBV核酸定量は検出せずである。抗体が陽性で「H」のマークが付いているのが心配なので相談した。肝臓もかかりつけ医で定期的のみてもらっている。

HBs抗体陽性時に伝えるべき内容

女性 80代 C型肝炎 慢性肝炎/キャリア 病氣自体に関して 病氣の治療に関して 医療費助成制度に関して 肝炎ウイルス検査に関して
日常生活上の留意点に関して 医療機関に関して 生活支援について その他 助成制度 医療費 資料情報

☞C型肝炎でDAA治療をするため、肝炎助成申請の手続きについて教えてください。

HCV治療費助成申請時の伝えるべき内容

☞M医師より、肝がん重度肝硬変治療研究促進事業の説明依頼あり。M医師に聞くと今回はTACEであるが、今後はテセントリク+アバスチンを予定しているとのこと。2番窓口以案内したとのことであった。

肝がん助成時の対応

☞HBs抗体とHbc抗体が陽性であるのは、過去にB型肝炎ウイルスに感染があったという証拠と考えられる。現在HBs抗原陰性でHBV-DNAも検出せずなので持続している感染の状態ではなく、いわゆる既往感染の状態です。いま現在の肝臓の状態は定期的に検査を受けておられるということなのでそれは継続しておくのが安心です。またB型肝炎は、抗がん剤や免疫抑制剤の治療を受けられる場合に、再活性化を起こすことがあるので、ご自身過去に感染していたということは知っておいてください。そういった治療を受けられる際には担当医にそのことをお伝えしてください。

☞後期高齢者であったため、肝炎医療費助成申請の必要性を確認するために、当院担当部署に後期高齢者医療制度における高額療養費の限度額を問い合わせたところ、「該当患者さんは後期高齢者医療制度における所得区分が一般ではなく低所得Iであったため、高額療養費の限度額は8000円であり、C型肝炎に対するインターフェロンフリー治療の肝炎医療費助成の申請手続きは不要です」と返事をもらった。担当医に報告したところ、肝炎医療費助成の申請はせず、当日よりインターフェロンフリー治療を開始する方針となった。患者さんと家族さんに、診察室に移動していただき、マヴィレットを処方させていただいた。困ったこと・わからないことがあれば、電話をかけてくださいと、リーフレットをお渡しした。

☞患者ご本人と奥さんが外来前に来院され、大阪府のリーフレットを用い、制度を説明した。高額療養費で支払った治療費が1万円となる医療費助成で、3回目の治療から助成が受けられる。患者さんの場合は、入院は57600円が高額療養費の限度額であり、1万円との差額47600円をはらわなくて済むようになる。外来だと18000円で、8000円払わなくて済むようになる。スタンブラリーと考えてもらうのが、分かりやすく、患者さんの場合は、今回の入院で1回目であり、今はなにもする必要はなく、2回目の入院を予定されているのでその際に、助成制度の申請について、案内しますとお伝えした。

2022年12月

②-h.相談支援システム今後の課題⇒医療機関の問診について

📞 近くの歯科医院に行った際に、肝炎であることを伝えたら治療に際して1週間～2週間準備が必要と言われた。感染対策がされていて、肝炎患者でも受診できる歯科医院はあるか。問診時に肝炎であることを書かない方がいいのか。問診に書かなかった場合、罰金等はあるのか。

👤 一般的にどこの歯科医院も標準的な感染対策を行っており、肝炎患者でも治療を受けることができるとお伝え。一方、治療を受ける前には医師や看護師に肝炎にかかっていることを伝えた方が望ましいことを説明した。

歯科は医科と異なり、陽性者情報が把握できないので問診票で聴取標準予防策を実施している医療機関で肝炎ウイルス陽性を告知しないといけない？嫌な思いをした患者さんも告知することが望ましいのか？

肝炎患者相談支援システム

本日までの全国総登録件数： 74347 件 (自施設： 0 件)



【NEWS】 お待ちしています。

- 2024/02/26 鹿児島大学病院；鹿児島大学病院 ④その他：医療従事者向け研修会について報告いたします
- 2024/02/22 鹿児島大学病院；鹿児島大学病院 ①肝臓病教室②啓発活動（市民公開講座）について報告いたします
- 2024/02/21 鹿児島大学病院；鹿児島大学病院 ②肝CO研修会（養成講座含む）について報告します
- 2024/02/21 岩手医科大学附属病院；2023年度 活動報告
- 2024/02/21 三重大学医学部附属病院；三重県肝炎医療コーディネーター養成研修会
- 2024/02/21 関西医科大学総合医療センター；肝臓病教室を開催します
- 2023/11/13 システム内でユーザー登録、変更、削除の申請が可能になりました（管理者、責任者のみ操作可能）。詳細はユーザー情報編集のユーザー管理メニューよりご確認ください。
- 2023/09/11 質問箱のスレッドの表示方法を変更しました（自近3件のみ表示、それ以外はボタンにより展開可能）
- 2023/08/01 公開許可した相談記録の状況が「相談内容の記録・検索・編集」メニューより確認できるようになりました。要修正については対応を行うようお願いいたします。
- 2023/06/30 2023年7月1日より相談支援システム管理・運用担当係への連絡先は"kanen-soudan@datalake-sys.co.jp"となります。
- 2023/05/16 リンク集の各種ガイドラインに自己免疫性肝炎（AIH）、原形性胆汁性胆管炎（PBC）の診療ガイドライン及びガイドブックの最新版を掲載しました。

ユーザー情報編集

システムに関するFAQ

マンスリーレポート 2/3

最近の活動報告まとめ (Excelデータ) 3/2

新規活動報告はこちら

リンク集

- 肝炎情報センター
- 厚生労働省 関連サイト
- 各都道府県
- 政策研究用ウェブサイト (お立ちサイト)
- 肝臓病専門医一覧 (日本肝臓学会)
- 肝炎患者相談支援センター

肝炎患者の理解を深める

治療ガイド

Q 1. ウイルス排除後も歯科で治療を断られる。定期健診とか歯石除去も嫌がられる。

医療機関 ご相談者： C型肝炎の患者さん [座談会での回答をみる](#)

Q 7. これから介護の仕事をしよと思うているが、施設にB型肝炎のことは伝えるべきか。

就職 ご相談者： B型肝炎の患者さん [回答をみる](#)

医療機関では差別・偏見はまだまだ多く報告される

10数年前からB型肝炎ウイルスに対する抗ウイルス剤を内服しPCR検査で陰性（**検出せず**）が継続中。別医療機関で観血的な処置をするため、「B型肝炎で通院中」と申告すると「もう診療できない」と言われた →申告しない患者さんもいます

覚：血液中の肝炎ウイルスがPCR陰性であれば針刺し事故からは移りません

標準予防策：誰もが感染していると考えて対応する

1996年（平成8年）日本消化器内視鏡技師会消毒委員会がガイドライン→洗浄方法が確立

それ以前

肝炎ウイルス陽性者は一番後（手術場でも）非陽性者は十分な洗浄をせず次の患者さんへ

病院では現在も術前・入院時に肝炎ウイルス検査施行・・・しかも繰り返し

（自分が感染の可能性があったときのため）
内視鏡前の梅毒・肝炎検査、要らなくないですか

2019/09/04

江本 哲朗 = 日経メディカル

感染症 内視鏡前 梅毒 肝炎

<https://medical.nikkeibp.co.jp/leaf/mem/pub/eye/201909/5619>

印刷 | シェアする 0 | B!ブックマーク 0 | ツイート



皆さんの医療機関では、消化器内視鏡や呼吸器内視鏡による検査の梅毒、B型肝炎、C型肝炎検査をルーチンで行っていないだろうか。帝京大学医学部名誉

B型肝炎ウイルスは下記の滅菌・消毒で感染性がなくなりますか？

血液、体液（唾液、胸水、腹水、心嚢液、脳脊髄液等すべての体液）、分泌物（汗は除く）、排泄物、あるいは傷のある皮膚や、粘膜を感染の可能性のある物質とみなし対応すること

- **オートクレーブ**
- **次亜塩素酸**
- **エタノール**